The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	「阪大生のためのアカデミック・ライティング入門」ライティング指導教員マニュアル
Author(s)	堀, 一成; 坂尻, 彰宏
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/51132
rights	
Note	こちらは旧版です。最新版（第3版）は次のURLから取得できます。http://hdl.handle.net/11094/54513

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

導入

1　今日の授業の流れ

2　冊子『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門』について

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

①アカデミック・ライティングとは

1　アカデミック・ライティングの特徴

2　なぜアカデミック・ライティングが必要か

3　作文・感想文との違いに注意

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

②学びの成果に誇りを持とう

1　勿嘗糟粕

2　情報倫理・著作権のの考え方

3　剽窃に対するペナルティ

（コピペレポート検出のしくみ）

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

③アカデミック・ライティングの手順

1　自分なりの「問い」や「答え」を設定する

2　証拠を得るために調査・分析する

3　得られた情報を整理し構成を練る

4　論理的でわかりやすい文章で書く

5　内容や形式を点検し整える

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

④ピアワーク1
あたまのなかを整理する

1）シートのワーク①の枠の中央の円内にキーワードを書く。

2）キーワドから連想する言葉を周りに書く。

3）あとで仲間になる言葉を色マーカやしるしでグループにする。

4）隣りの人とシートを交換し、言葉やグループの種類について意見を交換する。

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

⑤文献・資料を調査しよう

1　ネットの情報に注意！：信頼度・時点

2　一次資料と二次資料

3　文献・資料の読み込み

：目次・索引・用語説明・トピックセンテンス・書評

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

⑥主な論証の方法

1 「演繹」か「帰納」で説明を書く

2 やってはいけない記述

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

⑦パラグラフライティングとは

◎一つのパラグラフは、一つの事だけを説明する

◎ トピックセンテンスがある

◎「見出し」がつけられる

◎ トピックセンテンスと無関係な文は含まれない

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

⑧ピアワーク2 パラグラフライティングをしてみよう

1） ワーク1で書き出した言葉を参考に、中央の円内のキーワードについて、パラグラフライティングをしてみる。

2） 隣りの人とシートを交換し、トピックセンテンスはあるか、関係のない文が混ざっていないか、見出しを付けるとすると何が適当かチェックしてもらう。

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

⑨適切に引用しよう

1 「 」引用：短い文章を文中で引用する場合の引用

2 ブロック引用：長い文章をまとめて引用

3 要約引用：引用の内容を自分の責任でまとめて書く

注意1: 引用する文章の内容を勝手に変えない

注意2: 必ず出典を明記する（ページ、URL 、確認日時）

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

⑩形式を整えて提出しよう

1 外観の設定

2 見出しの設定

3 図や表・キャプションを設定

4 文献一覧

5 提出前のチェック

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

おわりに

◎大学の文章へ

◎いきなり書かない！手順を踏む！

◎パラグラフ・ライティング

◎形式は大事

◎人に助けてもらおう！＝人を助けよう！

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学

(c) 2015 堀一成・坂尻彰宏・大阪大学